

# 「筑波」と「つくば」を繋ぐ～新しい出会いを拓く～

## 【プログラム】

### 13:00 主催者挨拶:

小玉 祐一郎 (こだま・ゆういちろう)  
つくば建築研究会理事長

### つくば市長挨拶:

五十嵐 立青 (いがらし・たつお)

### 13:15 五十嵐 立青 市長

「つくば市における  
SDGsによる地域活性化方策」

### 14:20 園田 真理子 明治大学教授

「筑波とつくばを繋ぐ  
コミュニティカフェの提案」

### 15:50 休憩

### 16:00 パネルディスカッション

園田 真理子

坊垣 和明 東京都大学名誉教授  
NPO法人つくば建築研究会副理事長

永井 正毅 UR都市機構 設計企画課長  
NPO法人つくば建築研究会副理事長

### 17:00 終了

参加  
無料



photo © sadamu saito



東京が限界都市になる可能性について討論された最近の新聞記事によると、東京でさえ公園、道路、水辺空間などの「住みやすい環境」を作っていないと、経年マンションなどの「持続的更新」が立ち行かなくなると指摘されています。

つくば市は東京よりも「住みやすい環境」を多く有しています。しかしそれらは広範囲に散在し、現状では認知もネットワーク化も進んでいません。本来有するそれらの魅力を多くの市民が認識できず、また訪問者にも周知される状況にないことが課題と言えます。

つくば市に散在する伝統的価値の高い集落や民家も、また特産の品々も同様にその価値や魅力がどんなに貴重で得難いものなのか、まだ十分な情報の蓄積と周知には至っていません。

今回の市民シンポジウムでは、まず、そこにある地域の貴重な財産を活用して、人と人、情報と情報を繋ぐ場(コミュニティカフェ)をどのようにすれば設けることができ、そして、その場を設けることでどんな繋がりが生まれてくるのかを、具体的な提案を含めて解説いただきます。

またつくば市長より、「つくば市SDGs未来都市計画」について、特に「価値の創造と継承」「循環と環境保全」の中からオープンデータ利活用環境と地産地消などについて、具体的な取組内容を交えて分かりやすく解説いただきます。

これらをもとに、つくば市の資源、財産をいかに後世につなげるか、市民の皆さんと一緒に考え、議論してまいりたいと思います。

市民の皆様の多数の参加をお待ちしています。

## 【講師紹介】

### 五十嵐 立青 (いがらし・たつお)

#### つくば市長

2002年、筑波大学国際総合学類卒業。2003年、ロンドン大学UCL公共政策研究所修士課程修了。研究助手兼務。2004年、つくば市議就任。2007年、筑波大学大学院人文社会科学研究科修了。博士(国際政治経済学)。2008年いがらしコーチングオフィス設立。株式会社コーチ・エイ勤務。2010年、NPO法人つくばアグリチャレンジ設立。障害のあるスタッフが働く農場「ごきげんファーム」開設。2016年つくば市長就任。



### 園田 真理子 (そのだ・まりこ)

#### 明治大学 理工学部建築学科 教授

千葉大学大学院自然科学研究科博士課程修了。博士(工学)。市浦都市開発建築コンサルタンツ、財団法人日本建築センターを経て1997年より明治大学に勤務。一般社団法人「移住・住みかえ支援機構」理事、一般社団法人「全国ホームホスピス協会」理事。専門は建築計画学・住宅政策論。主な著書に、『世界の高齢者住宅一日本・アメリカ・ヨーロッパ』(日本建築センター)、「建築女子が聞く住まいの金融と税制」(学芸出版社)など。



【主催】NPO法人つくば建築研究会 【共催】つくば市

【後援】茨城県、つくば市商工会、日本建築学会関東支部茨城支所、一般社団法人茨城県建築士事務所協会、一般社団法人茨城県建築士会

【協賛】谷田部印刷株式会社、株式会社アイネクスト

つくば建築研究会では、つくばの建築の面白さ、街の面白さを紹介する活動をしています。

筑波研究学園都市とその周辺の建築作品(106作品)を美しいカラー写真で綴る『つくば建築フォトファイル』の発行、つくばの魅力的な建築物を解説付きで訪ねる「つくば建築バスツアー」、様々な切り口でつくばの魅力あるまちづくりを考える「市民シンポジウム」を開催しています。